

2017年度

阪神地区精神保健福祉研修会

～ 精神医療のこれから ～

日時 2018年2月10日(土) 13:00～16:00 受付 (12:30)

会場 女性センター「トレピエ」3階大ホール(阪急神戸線武庫之荘駅徒歩3分)

尼崎市南武庫之荘3-36-1

主催 ひょうかれん(公社)兵庫県精神福祉家族会連合会

幹事家族会 あまかれん(尼崎市精神福祉家族会連合会)

後援 尼崎市(予定)

主な内容

各市の家族会活動報告 13:15～

7市の家族会代表による

講演 「精神医療の枠組みはずし」 14:10～

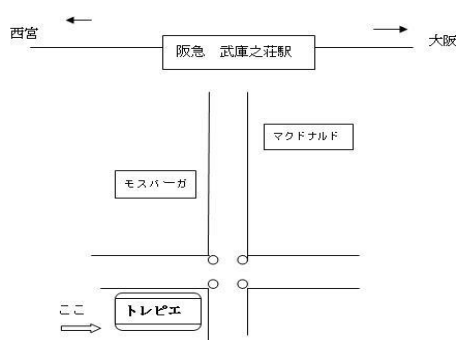
講師 竹端寛氏

アクセス・地図

阪急武庫之荘南出口から

まっすぐ南へ240m

*駐車場はありませんので、周辺の
コインパーキングをご利用ください



★定員 200名

★問い合わせ先:

事務局(サポートセンター「さくら」内) ☎06-6430-9225 山〇

*講演の内容については裏面をご覧ください

講演

精神医療のこれから

竹端寛 氏
来たる！！

～精神医療の枠組みはずし～

精神医療と言えば

- 「薬はきちんと飲まなければいけない」
- 「できるだけ副作用の少ない薬を」
- 「統合失調症が治る新薬が開発されないか」
- 「薬を拒否する子どもに途方に暮れる」
- 「信頼できる医者に巡り合いたい」
- 「医者の言うことは聞かなければならない」
- 「状態が悪くなったら、入院しかない」



薬・医者・病院この3つは外せないものだと私たち家族は思ってきました。
精神医療をこの「枠ワク」の中で、考えてきました。

そこに飛び込んできた新しい情報

全世界的な注目を集め、日本でも精神医療に大きなインパクトを与え、専門家・当事者・家族の注目を集めている「オープンダイアログ（開かれた対話）」（フィンランド）そして、精神病院をなくしたイタリア・・・

急性期に毎日
ミーティングを行って
回復を目指す



薬や入院は絶対に必要
ではないかも。

今回の講演の講師は、山梨学院大学法学部政治行政科教授の竹端寛氏をお招きします。竹端さんは、日本の精神医療だけでなく、イタリア・トリエステやフィンランドのケロプダス病院など、精神医療の枠組みを掛け替えた現場取材してこられました。また、「未来語りのダイアログ」のファシリテーターの研修も受け、対話を通じた精神医療の枠組み外しにチャレンジしておられます。

竹端さんとの対話の中で、家族が求める精神医療のこれから、とはどんなものか、私たちに何ができそうか、を一緒に考えてみませんか？